



スキー協通信

No.419

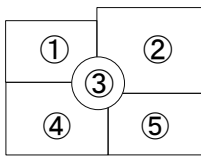
発行
2019.9.1

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144
ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org
ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）
00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）
広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

発行責任者
出崎福男

オフシーズン 白馬エリアの夏を楽しむ



- ①クガイソウ（八方尾根）
- ②コマクサ（五竜山麓）
- ③クガイソウに憩うコヒョウモン（五竜山麓）
- ④クチバシシオガマ（八方尾根）
- ⑤クロカントレーニングに励む地元高校生（白馬村）



目次

リレーエッセイ「雪紋」	2頁
会議の報告	3頁
クラブの行事から（S.C.こなゆき）／9・10月のカレンダー	4-5頁
山スキー委員会から	6頁

魅力・努力・協力— 3つの「ちから」で スキー協を前進させよう

リレーエッセイ



東京スキー協 理事長 出崎 福男

今年6月の第52回定期総会では、スキーを滑ること以外にも目を向けた行事の取り組みについて、複数のクラブから報告がありました。また総会議案では、全国スキー協50周年ウィークでスキーの様々な楽しみ方を提供する行事が取り込まれ好評だったことを受け、「多様性と専門性を広げる取り組み」という項目が新たに方針に加えられました。クラブ行事の魅力、スキー協行事の魅力に対する問題意識が高まりつつあると思われま

す。クラブ行事の魅力とはなんでしょうか？ 行事を行うスキー場の魅力だったり、クラブの指導員が行う講習の魅力だったり、交流会を通じて感じる仲間の魅力だったり、いろいろあるでしょう。その魅力をクラブ会員が例会などでの論議を通じて共有することにより、行事の魅力がクラブ外にも伝わり新しい参加者を得ることなどにつながると思います。

魅力をクラブ外に伝えるには努力が必要です。魅力を論議し、宣伝物を作り、いろいろなところへ配布しなければなりません。自分が行事に参加する時間を作るためにも、職場などでの努力が必要です。時として「たいへんな努力」が必要になるかもしれません。

全国スキー協栗岩会長が、スキーメイト No. 180 に「スキー協の規約にある『正しいスキー』って何だ？」という文章を書いています。規約第2条に「働く者の立場に立ったスキーに対する正しい考え方」という文言がありますが、ここが今まで理解できなかったと書かれています。実は筆者もこの部分は疑問でした。栗岩会長の文章は続きます。「『正しいスキー』というのは、技術のことではなくて、その

当時の社会環境が、働く者の立場に立っていない。そういう中でスキー、スポーツをやらざるをえない状況だ・・・」。スキー協創立当時1969年の年間労働時間は2,280時間でした。もちろん週休二日制はありません。1960年代からの労働組合の運動があって70年代なかばに週休二日制が導入されていきました。最近の数字は経団連の調査で、製造業1,955時間、非製造業1,999時間（ともに2017年）、減ってはいますがドイツやフランスが1,400時間前後（2014年、OECD）と比べるとまだまだ長時間労働です。休暇をとる努力やいろいろな努力が必要です。

（これらの数字は、主に従業員30人以上の民間企業の数字です。製造業で20人以下、それ以外の業種で5人以下の「小規模企業」には、1,100万人以上の方が働いています（2014年）。そこには、もっと厳しい状況があるでしょう。）

スキー協の魅力ってなんでしょうか。「仲間がいる」、努力は必要ですが「やりたいことがやれる」ということがあると思います。会員同士、クラブ同士の協力で、1つのクラブだけではできないことをやれるのがスキー協です。クラブには個性があります。個性豊かなクラブ同士が協力するためには、コミュニケーションが必要です。主張をする、そして相手の主張も聞く、共通点を探して一緒にやれる部分を見つけしていく。ここにも努力が必要です。

あと約3か月でスキーシーズンです。魅力を掲げ、それを生かす努力もして、協力もして、実りあるシーズンとしていきたいものです。

会議の報告

第2回理事会 2019.7.28 (日)

第2回常任理事会 2019.8.1 (木)

理事会:池袋第二区民集会室 33人中22出席
常任理事会:スキー協事務所 13人中9人出席

*紙面の都合から上記の会議内容を一括してまとめました。

<会議の主な内容>

1. 総会の総括

- (1) 活動報告・方針案・決算・予算案の提案に対して、反対意見はなかった。
- (2) おもな発言と感想
 - ・仲間を増やすために、①ねばり強い取り組み、②会員外への働きかけ、③指導員の役割が重要。

<各局担当・委員会担当>

1. 理事・常任理事の局担当

- 教育技術局 局長:福島 明(副会長)
常任:出崎福男、末広明美、
理事:中里隆太郎、山口信子、間間至、高橋勝美、
- 組織局 局長:星野昌弘
常任:村本博司
理事:松本幸男、本多賜代、藤井一雄、伊藤元広、蓮見玲子(新任)、
斉藤敏晴(新任)、市川正幸(会長)
- 総務局 局長:車田夕紀子
常任:梶並由美子
理事:吉田安信、鮎沢剛人、芦田潔、長部保雄、浜津良輔、矢口政武、北川勝治
海野茂(副会長)
- 広報局 局長:高橋豊明
常任:芦村憲一、出崎福男、
理事:小柳光雄、長谷川かよ子、平井光子
- 理事会事務局 常任:村本博司、矢吹 健

2. 委員会の担当

- 山スキー委員会 理事:吉田安信、長部保雄、矢口政武、関谷正義(非理事)
- 競技スキー委員会 常任:矢吹 健、末広明美
理事:高橋勝美、山口信子、間間至、長谷川かよ子、小柳光雄
小川 洋(副会長)

*ジュニア委員会、ウィークデースキー委員会は休止

- ・オフシーズンも楽しい活動。滑るだけでない行事内容。安くする工夫。
- ・行事収入増のために1回はスキー協の行事に参加しよう。

2. 関東ブロック協議会について

- (1) 東京スキー協、神奈川スキー協、千葉スキー協で構成。
- (2) 初級/中級指導員の養成と検定会と研修会は、ブロック協議会が主管して行う。
- (3) 担当者:福島明、出崎福男、小川洋、間間至、村本博司

*東京スキー協と関東ブロック間の行事の運用について質疑があった。ブロック協議会と地方スキー協の関係の中で、会計方法や運営のあり方をどのように位置付けたらよいか、全国スキー協の場で発議することになった。

(事務局 村本博司)

2019/8/7~9

白馬の短い夏休み

田畑 健(S.C. こなゆき)

白馬五竜高山植物園

白馬駅で参加者5名が合流し、白馬シャトル・レッドライン 11:53 発で五竜エスカルプラザへ。雨具・水筒・カメラだけを持ち、他はコインロッカーに入れて五竜テレキャビンに乗り、アルプス平駅(1515m)へ。アルプス展望リフトを乗り継ぎ地蔵ケルン(1676m)の下まで行きます。右手八方尾根の上に白馬連山が展望できます。次第に近づいてくる雷雲を気にしながら、木道を下り高山の花を観賞します。自然に咲く花は濃いピンクのシモツケソウが盛期で美しく、栽培種では「ヒマラヤの青いケシ」やスイスの「エーデルワイス」、そしてピンクや白のコマクサが印象に残りました。



P.コムパス & 朝の散歩

五竜発 14:52 シャトル・グリーンラインに乗り、終点・八方インフォメーションで下車、ペンション・コムパスさんへ迎えを頼みます。4年振りのコムパスさんでは先ずコーヒーをいただき、一息。風呂は倉下の湯へ送っていただき、八方尾根を眺めながら湯に浸りました。夕食は奥さんの洋風料理で魚も肉も美味しくて、地元の野菜が新鮮でした。ビールも地酒も大いに進みました。クーラーのない宿ですが涼風が吹き抜け、夜は薄い布団を一枚かけて寝ました。オーナーの加藤亮輔さんは白馬でペンション・コムパスを



経営して34年、白馬村議を2期務めています。

翌朝は6時に起きて散歩をしました。美味しい朝食をすませ、薫り高いコーヒーをいただいていると、庭の給餌台にリスと小鳥が来て、愛らしい姿を見せていました。

母池自然園

『中部山岳国立公園 第一種特別地域に指定され、標高1900~2000mに広がる「母池自然園」は、日本有数の高層湿原です。』とルートガイドに記されています。コムパスさんに母池スキー場のゴンドリフト「イヴ」の母池高原駅まで送っていただき乗車、雪の季節とは違う緑の風景を眺めながら母の森駅へ。ロープウェイに乗り換えて自然園駅(標高1829m)に着きます。真夏の日差しは強いものの、ここでは涼風が頬を撫でます。自然園の入り口には手前から、白馬館が経営する母池ヒュッテ、小谷村営の母池山荘、立派なトイレ、環境庁のビジターセンターが並んでいます。懐かしい母池ヒュッテ記念館は、改修中でした。

私たちは木道の東側から歩き、大きな葉の茂るミズバショウ湿原を経て、岩の間の残雪が冷たい風を吹き出す天然クーラーの風穴で一息。咲き残りのワタスゲ湿原を行き、楠川を渡ります。ここからは上り坂が700mほど続き、浮島湿原です。その奥にある銀名水は、美味しかったですよ。雪解けが遅かった窪地に咲く、コバイケイソウの白花が見事でした。

八方尾根-植生の逆転現象と固有高山植物

3日目は、ゴンドラリフト「アダム」の乗り場まで送っていただき、荷物はコインロッカーに預け出発です。「アダム」は6人乗りで冬季用のため、天井の小さな換気窓だけで暑さを感じます。兎平から黒菱平へ、更に標高1830mの八方池山荘までの2本のリフトは、足先に夏草が触れる感触も楽しく、自然と一体で楽しんでました。標高2060mの八方池までは歩1時間半、行き交う人も多く、高嶺の花を楽しみながら、次第に夏雲に閉ざされて来る白馬連山や不帰の峻嶮、五竜岳や鹿島鎗ヶ岳を眺めながら、ゆるりと歩きました。



八方尾根は「特殊な蛇紋岩と呼ばれる地質により、黒菱平から八方池上部付近まで、本来標高2500m以上の高山でしか見られない低木林や希少な花々が咲き、八方池上部より上になると、標高が高くなるにもかかわらずダケカンバ林が現れます。」（「八方尾根レポートQ&A」より）これを植生の逆転現象と言い、八方池までの間、高嶺の花が美しい理由が分かりました。また固有種として、ハッポウウスユキソウとハッポウタカネセンブリなどがあり、この2種の写真を撮りました。この時期、八方の高嶺の女王花は紫のマツムシソウでしょう。

八方池周辺は夏雲が湧き、60年前、不帰1峰東稜の積雪期初登攀を果たしながら低体温症で一人の仲間を失った雲表倶楽部の悲劇の地を、間近に見ることは出来ませんでした。リフトに乗って楽々下山、兎平ではカラフルなパラグライダーが数葉飛び立つ姿を眺めました。八方の湯で汗を流し、ナスとカボチャのお焼きと生ビールで昼食を済ませ、白馬発14:37あずさ26号で帰路につきました。

9・10月のカレンダー

9月	行事名	10月	行事名
9/5(木)	常任理事会	10/1(火)	山スキー委員会会議
9/7-8(土日)	全国山スキー部会	10/7(月)	競技スキー委員会会議
9/8(日)	東京技術部会	10/10(木)	理事会③
9/8(日)	東京スキーセミナー	10/12(土)	関東B初・中指導員養成、兼研修理論
9/10(火)	組織局会議/山スキー委員会会議	10/19(土)	指導員ミーティング
9/12(木)	指導員受検説明会	10/27(土)	平和駅伝&BBQ
9/15(日)	全国競技部会	10/28(月)	通信発行
9/18(水)	広報局会議		
9/25(水)	教育技術局会議		
9/30(月)	通信発行		

編集後記 **エビノシippo**

スキー協通信の編集に携わって6年目に入った。初めの頃から気になっていたことがある。“通信が会員の皆さんにどれだけ読んで貰えているのだろうか”ということだ。通信は東京スキー協と会員、クラブを繋ぐ機関誌。その役割が果たせるよう、今期も頑張りたいと思っている。(T.T)

ゲレンデから離れ、山の中へ！

クラブの活性化へ、知識、経験を深め、ゲレンデから離れ山スキーへ、新・深雪滑走への興味、高みへの挑戦、これらへの一端が開ける行事があります。

「山スキーの集い」、「山スキー基礎講座」、「山スキー教室」へ参加して頂ければ、あたらしい活動への方向を見いだせていただけるのではないかと思います。



2月八甲田

ゲレンデばかり、いつも同じ山域、等…、マンネリ化が活動の活性化を妨げているという論調

もあるようですが、そのようなクラブ、人々は、ぜひ、山スキー委員会の開催する集い、講座、山スキー教室へふるって参加してください。



八甲田山スキー教室 (2018)

◆山スキーの集い

2019年11月8日(金) P.M. 7:00 / 会場：としま区民センター (会議室504)

シーズンを前に山スキーのプラン、技術、用具、安全等についての交流の集いを企画しました。ぜひお集まりください。

◆山スキー基礎講座 (兼 関東山スキーリーダー養成講座)

2019年11月24日(日) A.M. 10:00 ~ P.M. 5:00 / 会場：新日本スポーツ連盟会議室 (スキー協事務室前)

どうしたら安全な山スキーが楽しめるのか、山スキーに必要な基礎知識を学ぶ講座です (山スキーリーダー論、読図、気象・積雪)。

◆山スキー教室 (予定)・詳細は別途通信等で発表します。

1/18(土)~ 19(日)	かぐら峰周 辺 (新潟)	入門	シール着脱・登高、滑降、スキー場から稜線へ、自然のままの雪山を楽しむ
2/8(土)~ 9(日)	湯の丸高原 (長野)	入門	粉雪の高原。シール着脱・登高、樹林滑降など
3/14(土)~ 15(日)	乗鞍高原 (長野)	入門・ 初級	シール登高 2~3 時間で肩の小屋へ、北アルプスの一端に
5/3(日)~ 5(火)	鳥海山 (秋田)	中級	積雪の多さと共に最良の山スキーの場を提供しています。滑降距離6キロ
5/2(土)~ 5(火)	八甲田山 (青森)	初中級	バリエーション豊富な広大な山域。春スキーの決定版。入門にも最適
5/22(金)~ 5/24(日)	立山・剣沢 (富山)	中級	北アルプス 3000m級の雄大な斜面の大滑降

日程等、変更される場合があります。事前にご確認ください。



鳥海山 (2019/5)



八甲田山スキー教室 (2018)

“ジャパウ” この言葉を知らない方はいないと思いますが日本のパウダーを言うそうです。これを求め海外から、我々も、ゲレンデも圧雪していないスキー場が人気のようです。しかし安全なのでしょう。ゲレンデでも雪崩は起きます。何故か圧雪されてないから？そしてゲレンデの外側と称してサイドカントリー、手軽に滑れるからか、ここも自然の中です。

閑話休題。底のないジャパウを味わうには、基礎講座からです。